

寄せられた声と回答の紹介(令和2年度8月回答分)

回答日	受付件名	受付の要旨	回答の要旨	担当組織
令和2年8月17日	武蔵関公園の遊歩道の舗装について	小さい頃から武蔵関公園の遊歩道を使っているが、木々の根が至るところに飛び出ている。大きい石も埋まっただけで歩いていただけがを。また雨が降るとぬかるみが酷く、道路が乾くまで公園が利用できないような状態になる。多くの利用者の安全が確保され、より利用しやすい公園となるよう遊歩道を舗装してほしい。	武蔵関公園の遊歩道は開園当初より未舗装で長年利用されてきたことで地面が踏み固められ、大きく生長した樹木の根が露出している箇所もあります。降雨後は水たまりができ、通行しづらい箇所もあります。そのため、昨年度は東端にある公園橋から西武線沿いの部分を舗装しました。遊歩道が長いので一度に舗装することはできませんが、水たまりや根による凹凸の大きい箇所から順次舗装化します。なお、舗装の種類は公園の景観になじむよう土系のもを使用しています。	土木部 維持保全担当課
令和2年8月27日	石神井プールの運営について	石神井プールでも新型コロナウイルス感染症対策を徹底していると思うが、何故定員を300人にしているのだろうか。また衛生上、水は毎日入れ替えているのか。	本年は、人と人との間隔を十分に保つことができるよう、入場者を300人に制限しています。プールの水は適切な塩素濃度を維持するとともに、濾過装置を循環させて良好な水質を保っています。そのため、プールの開場後、蒸発やオーバーフローにより減った水を補充するための給水はしていますが、全ての水の入替えはしていません。石神井プールでは、入場者制限のほかに、入場時の体温測定、手指消毒、更衣室でのマスクの着用、人と人との間隔の確保など、様々な新型コロナウイルス感染症対策への協力をお願いします。	地域文化部 スポーツ振興課
令和2年8月25日	としまえんの存続について	としまえんといえば練馬区、練馬区といえばとしまえん。それほど練馬区民にとって大切な施設が閉園になるなんて信じたくない。としまえんは、長い歴史があり練馬区の宝である。どうかこの長い歴史を閉じないでほしい。このまま遊園地を継続できないのであれば、せめてプールだけでも残してほしい。都内にこんな素敵な楽しいプールは他にない。区民プールとして残せないか。	区民の方から多くのご意見をいただき、としまえんが長年にわたり区民の皆様にご愛顧されてきたことを改めて実感しています。8月31日をもって閉園しますが、歴史的に貴重な機械遺産である「カルーセルエルドラド」を練馬城址公園に残すよう、練馬区議会とともに区も都へ要望しました。プールは、閉園に伴い解体する方向と聞いていますが、存続を望む声があることは都へもお伝えします。	企画部 企画課